

水田内の問題雑草＋藻類の発生を抑える水稲用初期剤

特長

● 幅広い殺草スペクトラム

移植前・後の使用で、ノビエ、コナギ、アゼナ類、マツバイ、ホタルイ、ミズガヤツリ、ウリカワ、ヘラオモダカ、藻類・表層はく離等、各種水田雑草の初期発生を抑えることができます。

● 藻類・表層はく離に卓効、速効的

藻類・表層はく離に卓効を示すとともに、極めて速効的に藻類を褐変・枯殺します。

● 水中拡散性に優れる

ACNを含有する初めてのフロアブル剤で、水中拡散性に優れます。

● SU抵抗性雑草に有効

コナギ、アゼナ類、ホタルイ等のSU抵抗性雑草に高い効果を示します。

適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当たり 使用量	使用方法
移植水稲	水田一年生雑草、及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ アオミドロ・藻類による表層はく離	植代後～移植前7日又は 移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで	500mℓ	原液湛水散布 又は水口施用
		移植時		田植同時散布機で施用

本剤のみを使用する場合の 使用回数	1回	ペントキサゾンを含む 農薬の総使用回数	2回以内	ACNを含む 農薬の総使用回数	3回以内
----------------------	----	------------------------	------	--------------------	------

